

Cots多文化教室2024

外国人支援の倫理・心構え

Cots代表理事 西村 明夫

1

※「偏見」の特徴（ルパート・ブラウン）

- ① 人々をカテゴリー化すること
[例] 男性・女性、日本人・外国人
- ② 自分の集団は多様、異なる集団は同質と認識しがち
- ③ 異なる集団の良い行為は記憶に残りにくい、悪い行為は記憶に残りがち
(自分の集団はその逆)
- ④ 異なる集団の良い行為は外部に要因があり、悪い行為はその集団に原因があると思いがち
(自分の集団はその逆)

Copyright Cots 4

■ 倫理・心構え7つのポイント

1. 差別と偏見の排除
2. 守秘義務の厳守
3. プライバシーの尊重
4. 中立性の確保と能力範囲の認識
5. 信頼関係の構築
6. 相互の関係への配慮
7. 関係支援機関・専門家との連携・協力

Copyright Cots

2

2. 守秘義務の厳守

- ① 知りえた個人的な情報を第三者にもらさないこと
- ② 研修やカンファレンスでの発表に注意すること

3. プライバシーの尊重

- ① だれにでも聞かれたくないことがあると意識しておくこと
- ② 過去の出来事、トラウマに注意すること

Copyright Cots

5

1. 差別と偏見の排除

- ① 自分自身は差別と偏見に無縁だと思わないこと
- ② 何がきらいか考えておくこと
- ③ 自分の言動が相手の心身を傷つけるかどうか想像すること
- ④ 差別を比較しないこと
- ⑤ 偏見の特徴(※次ページ)を理解しておくこと
- ⑥ マイクロアグレッション(日常に埋もれている差別)の概念を理解しておくこと

Copyright Cots

3

4. 中立性の確保と能力範囲の認識

- ① 支援をめぐって関係機関など対立しても一方的に非難しないこと
- ② 専門分野以外のことを助言しないこと
- ③ 相手に意見や感想を述べる場合は自分の個人的な意見・感想であることを告げること
- ④ 自分の能力を認識し、背伸びしないこと

Copyright Cots

6

5. 信頼関係の構築

- ① 話しやすい態度、相手を思いやる気持ちを持つこと
- ② 社会人としての礼儀・マナーを大切にすること
- ③ 文化や制度の違いを意識しておくこと
- ④ 適度な距離感を保つこと
- ⑤ 日本生まれの人に「日本語上手」と言わないこと
- ⑥ 相手と外国のことを議論しないこと

【文献】

- ・アリステレス[高田訳(2011)]『ニコマコス倫理学』岩波書店
- ・医療通訳の基準を検討する協議会(2010)「医療通訳共通基準」
- ・西村編(2021)『学校通訳学習テキスト』松柏社
- ・ブラウン[橋口ほか訳(2005)]『偏見の社会心理学』北大路書房
- ・スー[マイクロアグレッション研究会訳(2023)]『日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション』

6. 相互の関係への配慮

- ① プライベートな関係の構築にはリスクを意識すること
- ② 立場を利用して個人的な恩恵を受けないこと
- ③ 上下関係への発展に注意すること
- ④ 自立やエンパワメントを意識し依存心の助長に注意すること

7. 関係支援機関・専門家との連携・協力

- ① 関係支援機関や専門家等の業務内容を把握しておくこと
- ② 関係支援機関や専門家等との連携・協力関係を大切にすること
- ③ 自分の専門分野以外の問題は自分で抱え込まず、関係支援機関等へつなぐこと